

More Interesting Economy みえ経済

## 三翠ホール 年300万円でいかが?



### 企業と連携 深めるきっかけに

命名権販売の対象となる三翠ホール 言市の一重大で

### 三重大がネーミングライツ販売

### 三重大がネーミングライツ販売

三重大は、学内施設のネーミングライツ(命名権)を売り始めた。国立大の財政状況が厳しくなる中、同様の動きは他の国大でも広がっている。相澤は「地盤を開かれた会社と一緒にアピール」。共同研究など企業と連携を深めるのが第一にしたい」と期待する。

第1号として売り出したのは、学生会留学生の交流拠点。は、留学生の交流拠点があったが、今月17日の期初限「交換ホール」の命名権。昨年12月下旬から年300万円の予定基準価格で募集した。県内の製造業などの社長から問合せがありましたが、月17日の期初限まで応募はなかった。2月1日からは入学式などに使われる三翠ホールや食堂ク

ラフハウズ、各教室などの命名権も順次、販売する。3年間の契約期間で、予定基準価格は最低額の教室年30万円・最高額の三翠ホールが年300万円。幅広い学芸利用し、命名権になじみやすい施設が象徴的で、ホーリークラウス詳細な開発している。正式入札を受けた後、愛称や応募書類などを審査する予定だ。

背景には、国大4年に国立大法人大会にて開催。国は日々、国に交付する全管理費交付金を減らしている。そのため、名古屋大や獨教大、静岡大なども段々と学内施設の命名権を販売している。

三重大は、20年度に企業のPR映像などを映す大型ビジョンを学内の食堂を設置し、年間2万円、半年度で2千円の放映料をとる。約150社が採用や企業の情報などを流している。

三重大の相澤者は「研究を発展させる上で、組織自資源の獲得を必要とする必要がある」と説明し、命名権について「企業から見学希望の連絡があり、手始めに感じている企業側からは学生の就職につなげたい」「それがあるのではないか」と話す。